

年頭所感



新年挨拶

大阪府町村長会会長職務代理者 副会長 日下 纓子

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

顧みますと、昨年7月の参議院選挙において与党が大敗し、参議院では与野党が逆転する、いわゆる「ねじれ国会」現象が生じておりますが、与党大敗の要因として、年金などの社会保障制度改革と並んで大都市と地方の地域間格差の拡大問題がありました。

先の三位一体改革においても国の財政再建が優先され、また戦後最長となった景気拡大の恩恵も大都市と一部地域に偏っている一方、大部分の地方公共団体は交付税を大幅に減額され、極貧の中にあって、行政サービスの低下と住民負担の増嵩を余儀なくされている現状に対し、国民的関心が高まった結果ではないかと感じております。

私は、現在の中央集権型社会における地域間の差異は「格差」であり、その是正が必要ですが、地域づくりを地方が自己決定・自己責任に基づいて行う、地方分権型社会では、地域住民自らが受益と負担の関係や、行政サービスの優先順位を選択することによって生じる地域間の差異は「特色」として受け入れられるのではないかと考えております。

また、全国のそれぞれの地域が創意と工夫を凝らし、個性豊かで活力のあるまちづくりに取り組むことによって、元気でバランスの取れた国家が形成されると思いますの

で、そのような社会構造に改革して行く必要があると考えております。

そのためには、住民に最も身近な基礎自治体である市町村が、権限と財源を確保し住民ニーズに迅速かつ的確に応えた行財政運営が行なえるよう、国と地方の役割分担や権限移譲、また税源配分や地方交付税改革などの見直しを行い「真の地方分権の確立」を実現させることが極めて重要であります。

この場合、地方の中には大都市から小規模な町村まで有りますので、一律・画一的に取り扱うのではなく、離島・僻地はもとより大阪府内の町村のように都市型の行政サービスを求められる所に対する配慮や、きめ細やかな対応が不可欠であると考えております。

私たち大阪府町村長会は、引き続き大阪府や市長会、また全国町村会等の関係団体との連携をより一層強化し、真の地方分権の確立に努めるとともに、内では更なる行財政改革の断行と、行財政運営の健全化・効率化に全力で取り組んで参りますので、関係各位のご支援とご協力をお願い申し上げます。

おわりに、本年が素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭のごあいさつと致します。